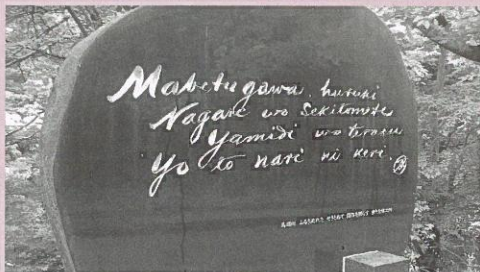


こみゅにTe@たいむ

とっこナイトを開催



大淵近くには「馬淵川 ふるき流れをせきとめて 闇路を照らす 世となりにけり」とローマ字で書かれた田中館愛橋博士の歌碑があります

二戸地方に初めて電灯が灯ったのは大正3年5月4日で、今年はちょうど100年目に当たります。このことを記念し、11月29日(金)～12月1日(日)の3日間、石切所にぎわい創出事業実行委員会(加藤宗宏会長)は、灯りをテーマにしたイベント「とっこナイト」を開催します。

【イベント内容】

○オープニングイベント…11月29日(金)午後6時～二戸駅前で開催。イルミネーション、あんどんへの点灯式や二戸演劇協会雲人・LOVE☆KIDSによる合唱など。

○あんどん通り…二戸駅前通りに石切所小学校・石切所保育所・ちゃいるどスクールの児童園児、地域住民がデザインしたあんどんを飾りつけます

○枋ノ木神社ライトアップ…子孫繁栄、五穀豊穡、商売繁盛を願う枋ノ木神社と金勢様をライトアップします。

○呑んべえ通り…駅前飲食店が独自に企画したサービスによる食べ飲み歩きイベントを開催します。異なる2店舗を回ると開運金勢升(限定200個)をプレゼントするほか、豪華景品が抽選で当たるダブルチャンスもあります。

問い合わせ先 地域振興課(内線352)

—地域おこし協力隊通信—

たからぼ
の中

八かき目「学びあいの秋」

私 たちが地域おこし協力隊となり、ちょうど1年。

昨年の今ごろは活動計画を立てるといふよりも何とか東北の寒さに慣れようと必死でした。紅葉が終わりに近づき、凜とした空気が漂っていたことを今でも明確に覚えています。

今年、協力隊となり初めての二戸の秋を体験しました。印象に残った活動は、地域と大学との交流が行われ、学びあいの秋になったことでした。

8月下旬から9月上旬にかけて、神奈川県文教大学から女子学生2人がエコツーリズムの取り組みについて、私たちと共

に約2週間活動しました。この間足沢地区と門崎地区に1週間ずつ宿泊しました。特に足沢

地区では、地域の方々のご協力のもと、農家民泊形式で受け入れていただき、農業体験はもちろん、御山街道を資源としたエコツーリズムの取り組みや地域の素材を活かした新商品開発の取り組みなどいろいろな角度から地区を見る場を設定していただきました。

また、10月中旬には、山形県の東北芸術工科大学から8人の大学生が浄法寺漆について4日間のスタディツアーを実施しました。浄法寺歴史民俗資料館で

の浄法寺漆の歴史の学

習に始まり、漆掻きや漆



浄南ママ直のキャラクターなどをデザインしました

を体験しました。最終日には、浄南ママ直を題材としたワークショップによるデザイン考案を行い、ロゴマークやキャラクターのデザインがさまざまできあがりしました。今後の展開次第では、浄南ママ直で新作のロゴマークなどが見られるようになるかもしれません。

これらの活動を通じて、多くの大学生と接する機会がありました。共通することは、自分の

地域おこし協力隊企画・二戸の宝を訪ねる旅

晩秋のブナ原生林トレッキング&秋の恵みと新そば

日時 11月9日(土) 午前9時45分～午後3時30分

集合場所 午前9時30分 天台の湯

募集人数 先着20人

参加費 4,000円(バス代、昼食代、ガイド代、入浴料、保険代含む)

問い合わせ、申込先 銀河鉄道観光(☎019-654-1489)

【地域おこし協力隊ブログ随時更新中!】

URL <http://www.iju-join.jp/chiikiokoshi/blog/>

知識や技術の向上だけでなく、社会・地域貢献にも意欲がある学生が見受けられることでした。今後は地域と学生の相互にとってさらによい関係をどのようにつくっていくかということが課題となりました。

ご協力いただいた地域の皆様、ありがとうございました。(地域おこし協力隊・野澤優介)